

公益財団法人 金沢市スポーツ事業団主催

# 第七回 かなざわスポーツ川柳コンテスト 入賞作品



9月から10月にかけて募集しました「スポーツ川柳」の入賞者が決定しましたので発表します。  
全国からたくさんのご応募、ありがとうございます。

■募集期間 令和5年9月5日から10月31日まで

■応募者数 1, 446人（全国47都道府県から応募がありました）

■応募総数 3, 123句

■選評 石川県川柳協会 副会長 浜木文代先生



【一般の部】

## 万人のゴールに万の物語

（大阪府 ちゆんすけ様 50歳 女性）

【選評】

人それぞれ姿、形が違うようにゴールまでの物語は一人一人違う。自分の人生、人まねをしないで自分の器に合った形で生きていく。  
詠むほどに深く沁みてくる。



【小中学生の部】

## 勝ち越しの一打伸びゆく秋の空

（北海道 原悠晴様 11歳 男性）

【選評】

さわやかな青空のもと、白球がグリーンと伸びてゆく。青と白のコントラストが実に爽快感を与える。  
ワァーと湧き上がる歓声まで聞こえてきそうな佳句である。



【一般の部】

# 何位でもキミが我が家の一等賞

(神奈川県 スポ乙メン様 男性 40歳)



【選評】

家族愛に溢れた懐の深い一句である。結果だけで落ち込んでいる時、このように言ってもらえたら、笑顔を取り戻せる。  
無償の愛は最上の教育に繋がる。



【一般の部】

# 痛いほど受けたバトンがエネルギー

(茨城県 コタラフ様 男性 43歳)

【選評】

チームの思いが丸となって手から手へバトンが渡る。数えきれないほど練習した日々を無駄にしたくない。(痛いほど) 受けたバトンでその先へ！



【小中学生の部】

# 1ミリが生んだ感動国揺れる

(静岡県 ほーじょー様 男性 15歳)

【選評】

1ミリが起こしたスポーツ界の余波は今だに日本の底を流れている。その結果(諦めない) 精神が根付いたように思う。スポーツの影響力はすごい。



【小中学生の部】

# 飛び越えろそびえるバーのその先へ

(福井県 玉村晃樹様 男性 14歳)

【選評】

目の前にそびえ立つバー。自分の心に活を入れながらひたすら打ち込むシルエット。その先の景色が見れますように・・・



【一般の部】

## 初勝利笑う息子と泣く親父

(神奈川県 沙緒翁様 男性 66歳)

【選評】

我が子の頑張りを後ろから温かく見守る親父。言葉はなくても愛は伝わる。初勝利を手にした時、親父の目が潤む。



【一般の部】

## 返納し帰りに買った万歩計

(静岡県 鈴木則子様 女性 83歳)

【選評】

免許返納には勇気がいる。これから先を考え抜いて返納の形をとった私。明日から確と大地を踏んで行こう。プラス思考の老後に乾杯。



【一般の部】

## ゴールライン夢見たあそこに今はいる

(東京都 れもん様 女性 16歳)

【選評】

あの夢ラインに自分は立っている。しみじみと思う。諦めなかった自分を褒めたいと。紆余曲折は決して無駄ではなかった・・・。



【小中学生の部】

ここ決めろ響くは友の熱い声援

(大阪府 立川清椛様 女性 15歳)

【選評】

「ここ決めろ」の口語体が巧い。選手と観客が一体となって勝利の方程式が出来上がる。そして友がいるからこそ青春は炎え上がる。



【小中学生の部】

大谷に憧れるより超えてやる

(石川県 桑原岳晴様 男性 13歳)

【選評】

大谷選手の言葉を巧く切り取った少年らしい勇ましい一句である。このような頼もしい子供たちがいる日本は前途洋洋である。



【小中学生の部】

逆上がりクルリ回した青い空

(愛媛県 アヤちゃん様 女性 12歳)

【選評】

青い空が一回転。(やった)(できた)と言う安堵感と共に、その場の興奮と上気したほっぺの色まで伝わってくる。

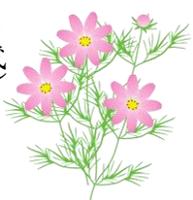




【一般の部】

がんばって泣いた笑った金メダル

(千葉県 高山恵美子様 女性 75歳)



【選評】

金メダルを首に掛けてもらいながら感極まって涙。その後から百万ドルの笑顔が零れた。



【一般の部】

子をあやし育兒と筋トレニ刀流

(福岡県 すずらん様 女性 26歳)

【選評】

母となり育兒も頑張り、ついでに自分磨きも。令和の女性たちは逞しい。育兒と筋トレが現代風である。



【一般の部】

親子ランいつしか子どもの中を追う

(福岡県 リンリン様 男性 58歳)

【選評】

いつの間にか大きくなったのだろう。一緒に走れば今では子の背中を追う私。親目線の感慨深い句である。



【一般の部】

素振りする子に星たちの応援団

(千葉県 ひろりん様 女性 68歳)

【選評】

目標に向かって懸命に努力する青い春。それを優しく見守る星たちは、大きくなれ強くなれとエールを送る。



【一般の部】

岡田より先に言ってたアレよアレ

(大阪府 逆ペリカン様 男性 41歳)

【選評】

岡田監督の(アレ)が流行語大賞に選ばれた。しかし(アレ)は自分が会話の中でよく使う言葉。思わずニンマリする句である。



【小中学生の部】

## 横跳びでつかんだボール勝利呼び

(大阪府 ユウユウ様 男性 11歳)



【選評】

ボールが向かってきた瞬間、横跳びですくい上げ勝ち取った試合は記憶に残る事だろう。青春真っ盛りのみずみずしい世界観がある。



【小中学生の部】

## 手のマメは夢舞台への通り道

(石川県 長濱智斗様 男性 14歳)

【選評】

手のマメは日々努力している証。たとえ今が苦しくても志を高くしていざ進まん。いつかきつと夢の扉は開かれる。



【小中学生の部】

## 勇気いるその第一歩でわくかんせい

(石川県 西川旺佑様 男性 14歳)

【選評】

誰もがまだ挑戦した事のない技に挑戦する姿勢に、敵も味方も惜しみなく拍手を贈る。第一歩を足掛かりとして人は進化する。



【小中学生の部】

## ノーマスクママの「ガンバレ」よくひびく

(埼玉県 リン様 男性 7歳)

【選評】

母子の愛情が伝わる句である。ママの声援が一直線に飛び込んできたのだろう。さらにギアを上げる子の姿が胸に迫る。



【小中学生の部】

## 高跳びで空まで届くジャンプカ

(静岡県 のん様 女性 14歳)

【選評】

空までグリーンと足を伸ばして空を蹴り上げる。日頃の練習の成果を發揮した時、人は鳥になる。躍動感溢れた一句である。